

創立70周年を節目に新たな一歩を!

熊中

クールないかした生徒
マナーを守る(礼儀をわきまえた)生徒
ニーズがある(必要とされる)生徒
シーンを創れる場面を演出できる(生徒

校長室だより
第16号
北九州市立熊西中学校
校長 江口 恵子

盛り上がった記念式典

十二月三日(土)、本校の創立七十周年記念式典が開催されました。教育委員会や歴代校長先生をはじめ教職員、地域や保護者の方々など、百名近くのご来賓の方々をお迎えすることができました。

本校は昭和二十二年という戦後間もない頃、黒崎第二中学校として開校しましたが、現在は一九四〇〇名を越える卒業生がさまざまな分野で活躍しています。

その伝統の重みと、大勢の方々の期待を改めて感じる事ができました。

また、この記念式典にあたって、記念事業実行委員会からは冷水機三台と砂時計等、また同窓会からは体育大会の集団演技で使用した「明日への翼」マーチング編曲費用、製氷機、体育館合唱用ひな段をいただきました。たいへんありがたいことです。末永く大切に使用させていただきます。

さらに、北九州市教育委員会をはじめ、多くの方々からお祝いや励ましの言葉をいただきました。そのお礼として、成富生徒会長から、今後は「凡事徹底のA(当たり前のこと

を)B(びつくりするくらい)C(ちゃんとする)」を極め、熊西中学校をさらにステツプアップさせていくという力強い決意表明がありました。

その後の呼びかけ、全校合唱はすばらしく、多くのご来賓の方々からおほめの言葉をいただきました。また、全校合唱の際には、第二部に出演予定の、北九州市文化大使でシンガーソングライターの富永裕輔氏の飛び入りもあり、その後の第二部では大いに盛り上がりました。



最後の三年学年行事

この節目の日を本校で迎えられたことをお互いに感謝し、今後に生かしていききたいと思います。



ボールでしたが、どちらも白熱した試合が続きました。

総合優勝は三組でした。ただ、わずかな差で、気合いやチームワークはどここの学級も、負けていませんでした。

これから受験という試験に立ち向かっていきますが、全員が希望の進路を叶えてくれることと期待しています。

今年の漢字は「金」

表す漢字は「金」と発表されました。リオ五輪に湧き、東京五輪に希望を託した「金」だそうです。

本校は、今後も保護者や地域の皆様のご協力を得て、金色に輝く学校にしていきたいと思ひます。



十二月十二日、京都の清水寺で、今年の世相を